

特別企画：九州・沖縄地区の外食産業売上高ランキング（2017年度）

売上高上位 50 社の合計売上高、過去最高を更新 ～売上高トップは「プレナス」～

はじめに

一般社団法人日本フードサービス協会が 2018 年 7 月に発表した 2017 年（平成 29 年）の外食産業市場規模（料理品小売業を含む広義）は 32 兆 8176 億円と、前年に比べて 1.1%増加した。料理品小売業態は伸び率こそ前年を下回ったものの、プラス成長を維持したのに対し、居酒屋などの料飲主体の業態は前年に続きマイナス成長となった。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS 2」（約 147 万社収録）から、九州・沖縄地区（以下、九州）に本社を置き、外食事業を主業とする企業を抽出。売上高上位 50 社の 2017 年度（2017 年 4 月期～2018 年 3 月期）の売上高や税引き後利益、その伸び率などをまとめた（売上高には一部推定を含む）。

なお、本調査でいう「外食」には、レストランなど飲食店における「飲食」事業をはじめ、持ち帰り弁当や宅配サービスなど料理品小売業に分類される「中食」事業、病院・福祉施設などにおける「給食」事業も含めて集計した。

本調査は 2017 年 12 月（2016 年度調査）に続く 18 回目。

調査結果（要旨）

1. 2017 年度の売上高ランキングは、持ち帰り弁当店「ほっともっと」や定食店「やよい軒」を展開する**(株)プレナス**（東証一部、福岡市）が 15 年連続のトップ
2. 2017 年度の売上高伸び率ランキングは**(株)イートスタイル**（宮崎県小林市）がトップ。以下、**(株)一蘭**（福岡市）、**(有)ホット・ショット**（熊本市）と続いた
3. 売上高上位 50 社の 2017 年度の合計売上高は 4926 億 2200 万円で、前回調査（2016 年度）に比べて 1.9%増加、さかのぼって確認できる 2004 年以降の最高を更新した
4. 前年度売上高との比較が可能な 49 社のうち「増収」企業は 34 社（構成比 69.4%）となり、構成比は前年度（69.6%）をわずかに下回った。また、税引き後利益が「赤字」となった企業が 6 社（構成比 12.2%）、「減益」企業も 17 社（同 34.7%）にのぼるなど、損益が悪化した企業が目立った
5. 倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数をみると、2017 年度は前年度比 27.3%（9 件）増の 42 件と、4 年ぶりに増加した

1. 売上高ランキング [50位までのランキング表は末尾掲載]

2017年度の売上高ランキングでトップになったのは、持ち帰り弁当店「ほっともっと」や定食店「やよい軒」を展開する**(株)プレナス（東証一部、福岡市）**。「やよい軒」事業は、野菜が充実した新メニューや期間限定の鍋定食など、季節感を取り入れたメニューなど顧客の幅広いニーズに応える商品開発に取り組んだ。また、店舗数は退店5店舗に対して新規出店27店舗の純増22店舗となり、ファミリーレストランチェーン店などとの競合で苦戦を強いられる店舗があったものの、新規出店の寄与によって増収となった。一方、「ほっともっと」事業では、既存店舗において近隣の飲食店やコンビニエンスストアなどとの競合もあって、来店客数の減少や顧客単価の低下を強いられる店舗が多いなどで減収を余儀なくされ、総売上高は前期比1.2%減の1365億8400万円となった。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位10社(2017年度)

順位	前年度 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	1	(株)プレナス	福岡市	中食	持ち帰り弁当「ほっともっと」、定食店「やよい軒」	2	136,584	▲1.2%
2	2	注1 ジョイフルグループ各社合計	大分市	飲食	ファミリーレストラン「Joyfull」（ジョイフル）」	12	63,564	1.4%
3	6	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	18,024	19.8%
4	3	注2 梅の花グループ(東日本・西日本)	福岡県久留米市	飲食	飲食店「湯葉と豆腐の店 梅の花」	9	16,862	▲0.6%
5	5	(株)ヒライ	熊本市	中食	持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」、食堂「まんま・家」	5	15,868	4.5%
6	4	(株)ウエスト	福岡市	飲食	うどん・そば店、焼肉店「WEST（ウエスト）」	2	15,349	0.4%
7	7	東洋食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味処 花咲」「四季の創菜旬」「花小町」「味花」	11	14,552	▲0.7%
8	8	(株)力の源カンパニー	福岡市	飲食	ラーメン店「博多一風堂」、居酒屋「行集談 四郎商店」「五行」	3	14,520	3.7%
9	9	栄食メディックス(株)	福岡市	給食	施設内の飲食サービス業務の受託運営	9	13,600	▲2.9%
10	11	(株)イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	2	9,658	15.0%

〔売上高には推定値を含む〕

注1 (株)ジョイフルは、2016年1月に直営店舗の事業部門を11の地域子会社に分割譲渡、持ち株会社へ移行した。売上高は、(株)ジョイフルおよび各地域子会社の直営店販売実績合計(有価証券報告書記載)。

注2 梅の花グループは、2016年10月に東日本と西日本における店舗事業をそれぞれ(株)梅の花サービス東日本、(株)梅の花サービス西日本に分割。2017年度は両社の売上高(有価証券報告書記載)を合算した。また、売上高伸び率は、分割前の(株)梅の花Serviceの売上高と比較し、算出した。

2位は、ファミリーレストラン「Joyfull」を展開する**(株)ジョイフル（福証、大分市）グループ**。新たに開発した新商品「しんけんハンバーグ」が好評で、4月からグランドメニューに加わった。6月には、グリル商品のメイン食材を自由に組み合わせ選ぶことができる「カスタマイズコラボ」がスタート。新商品の定着と新しい組み合わせメニューの提案が寄与し、売上高は前期比1.4%増の635億6400万円となった。

3位は、**(株)一蘭（福岡市）**。2015年度が8位、2016年度が6位と着実に順位を上げている。前期に新規出店した9店舗が通期にわたって売り上げに寄与したほか、期中は近畿・中京圏に相次ぎ新店

をオープン。インバウンド効果（訪日観光客の来店）を狙った出店攻勢によって、前期比19.8%増の180億2400万円となった。土産品販売を店舗内限定から、駅、空港、一部のディスカウントストアや大手スーパーにも拡大。袋ラーメンの販売が伸びたことも寄与した。

2. 売上高伸び率ランキング

2017年度の売上高伸び率ランキングでトップになったのは、全体順位26位で前期比67.4%増の(株)イートスタイル(宮崎県小林市)。九州内の大型商業施設などに「いきなりステーキ」「サーティワンアイスクリーム」などのFC店を開設し、売り上げを伸ばしたことに加え、九州の大型スーパーや百貨店で調味料や珍味を取り扱う「久世福商店」やジャム、パスタソースなどを扱う「サンクゼール」を展開していた(株)サンクゼール九州(宮崎県小林市)を2017年3月に吸収合併したことから、売り上げが飛躍的に伸びた。

九州・沖縄地区 外食産業売上高伸び率ランキング上位10社(2017年度)

伸び率 順位	全体 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	26	(株)イートスタイル	宮崎県小林市	飲食	「ポポーマーマ」「ステーキハンバーグ&サラダバーけん」「サーティワンアイスクリーム」各FC	2	4,379	67.4%
2	3	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	18,024	19.8%
3	50	(有)ホット・ショット	熊本市	飲食	「マクナルド」FC	12	2,354	15.8%
4	10	(株)イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	2	9,658	15.0%
5	16	JR九州フードサービス(株)	福岡市	飲食	創作料理店「うまや」、居食店「驛亭」、駅構内レストラン	3	7,032	14.5%
6	25	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクナルド」FC	3	4,418	13.9%
7	49	(株)唐十	北九州市	中食	からあげ惣菜や弁当店「唐十」	3	2,500	13.6%
8	17	九州産交リアル(株)	熊本市	飲食	高速道路SAでのレストラン経営、熊本城桜の馬場城彩苑内レストラン	9	6,783	12.9%
9	42	(株)ハルフードシステム	長崎県佐世保市	飲食	イタリアンレストラン「マルグリータ」、和食レストラン「百菜旬」	3	2,988	10.8%
10	46	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	居酒屋「松介」「博多ほたる」、焼肉店「龍王館」、ラーメン店「中る」	9	2,768	8.1%

【売上高には推定値を含む】

2位には、全体順位が3位にまで躍進した(株)一蘭がランクイン。

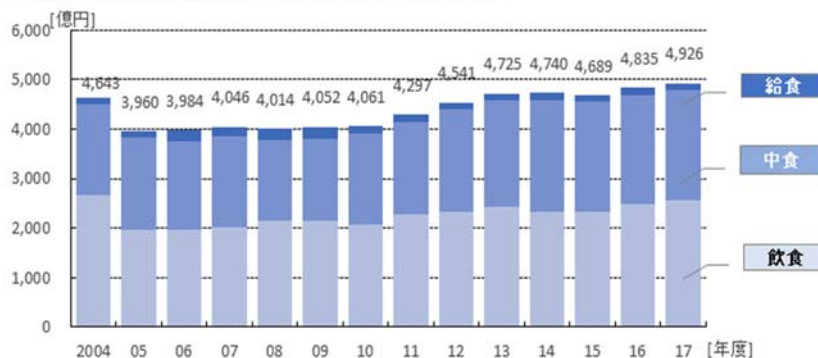
3位は(有)ホット・ショット(熊本市)。熊本地震の影響で営業休止となっていた店舗が事業を再開したことで、売上高は前期比15.8%増となった。

「中食」業態で伸び率が最も大きかったのが、4位に入った(株)イーティーズ(福岡県鞍手町)。前期に出店した10店舗の売り上げが業績に寄与したほか、出店先小売業者の新規出店に応じた出店を行った。また、既存店もグループ内で商品開発を強化しながら、顧客に飽きさせない商品供給が可能となったことで、顧客単価を維持でき、売上高伸び率は15.0%に達した。

3. 売上高上位50社の合計売上高推移

九州の外食産業の売上高上位50社の2017年度の売上高合計は4926億2200万円と、前年度（4834億7100万円）に比べて1.9%増加。さかのぼって確認できる2004年以降、合計売上高は2年連続で過去最高を更新した。

■九州の外食産業売上高上位50社の合計売上高推移



業態別にみると、「飲食」が2556億7100万円（構成比51.9%）を占め、前年度比2.9%増と3年連続で増加した。熊本地震で営業を休止していた店舗が再稼働したことが寄与したほか、インバウンド需要の恩恵を受けた企業も多く、好調を保った。

■売上高上位50社の事業形態別売上高推移

		飲食	中食	給食	合計
2015年度	合計売上高	233,268	222,116	13,500	468,884
	社数	36	13	1	50
2016年度	合計売上高	248,586	220,885	14,000	483,471
	社数	36	13	1	50
2017年度	合計売上高	255,671	223,351	13,600	492,622
	社数	35	14	1	50

※ 集計企業は、毎年入れ替わりがある

(単位 上段：百万円、下段：社)

「中食」は同1.1%増の2233億5100円（同45.3%）と、3年ぶりに増加した。売り上げが伸びた要因のひとつとして、売上高ランキングトップのプレナスの減収幅が前年より小さかったことが挙げられる。プレナスを除いた「中食」の合計売上高は867億6700万円と、6年連続で前年度を上回った（5.0%増）ものの、伸び率は徐々に低下している。伸び悩む消費の影響を受けたことに加え、九州の市場に飽和感が生まれてきた可能性が示唆できよう。

■「プレナス」を除く49社の合計売上高の推移

(単位：百万円)

		50社 合計売上高 (A)	「中食」 合計売上高 (B)	プレナス 売上高 (C)	49社 合計売上高 (A-C)	プレナス除く 「中食」 合計売上高 (B-C)
2015年度	合計売上高	468,884	222,116	143,489	325,395	78,627
	前年度比伸び率	▲1.1%	▲1.3%	▲4.6%	0.5%	5.2%
2016年度	合計売上高	483,471	220,885	138,282	345,189	82,603
	前年度比伸び率	3.1%	▲0.6%	▲3.6%	6.1%	5.1%
2017年度	合計売上高	492,622	223,351	136,584	356,038	86,767
	前年度比伸び率	1.9%	1.1%	▲1.2%	3.1%	5.0%

4. 売上高・損益の推移

売上高上位50社のうち、前年度との比較が困難な1社を除いた49社の売り上げ動向を見ると、「増収」となった企業が34社（構成比69.4%）と、構成比は前年度（69.6%）とほぼ横ばいだった。ただし、業態別にみると、「飲食」27社、「中食」7社で、業態内における構成比はそれぞれ79.4%、50.0%。前年度と比べると、「飲食」は7.5ポイント増加したのに対し、「中食」は11.5ポイント減少と、明暗が分かれている。

■売上高上位50社の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	16 (13)	1 (3)	12 (9)	0 (3)	1 (0)	0 (1)	4 (3)	34 (32)
減収	3 (3)	2 (2)	5 (5)	1 (0)	1 (3)	2 (1)	1 (0)	15 (14)
合計	19 (16)	3 (5)	17 (14)	1 (3)	3 (3)	2 (2)	5 (3)	49 (46)

※ 2016年度は前年度との比較が困難な4社を除く46社、2017年度は同様に1社を除く49社を分析した

■飲食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	14 (9)	1 (3)	8 (7)	0 (2)	1 (0)	0 (1)	3 (1)	27 (23)
減収	2 (1)	1 (1)	1 (3)	1 (0)	1 (3)	1 (1)	0 (0)	7 (9)
合計	16 (10)	2 (4)	9 (10)	1 (2)	2 (3)	1 (2)	3 (1)	34 (32)

※ 2016年度は前年度との比較が困難な4社を除く32社、2017年度は同様に1社を除く34社を分析した

■中食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	2 (4)	0 (0)	4 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	7 (8)
減収	1 (2)	1 (1)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	7 (5)
合計	3 (6)	1 (1)	8 (4)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	14 (13)

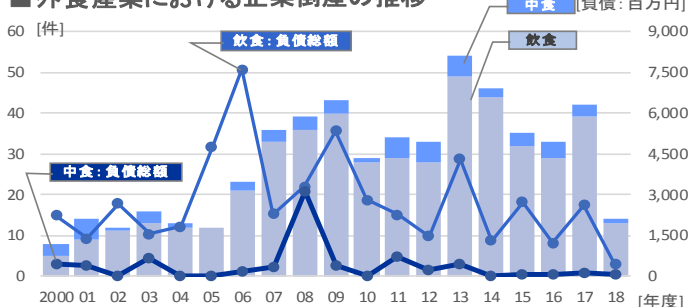
損益面では、「赤字」となった企業は6社（構成比12.2%）と、構成比は前年度（17.4%）から減少し、2年連続で減少した。他方、「黒字」ながら「減益」を余儀なくされた企業が17社（同34.7%）と構成比は前年（30.4%）を4.3ポイント上回った。人材確保に伴う賃金上昇や天候不順による野菜の価格高騰など原価上昇が響いた企業が多かった。また、消費者に依然として根強く残る節約志向もあって単価引き上げに踏み切れないなど、外食産業の収益環境は厳しさを増している。特に「中食」事業者では、過半数の企業が「減益」を強いられているように、コスト高を販売価格に反映できない企業が増えている可能性がある。

5. 倒産動向

九州における外食産業の倒産（法的整理のみ、負債1000万円以上）件数をみると、2017年度は前年度比27.3%（9件）増の42件と、4年ぶりに増加した。

ただ、負債額が3億円以上だったのは、（有）grasp diner service（福岡市、2017年5月破産、負債約6億円）、

■外食産業における企業倒産の推移



2018年度は4月から9月までの6カ月間累計

（有）COCORO（熊本市、2017年9月破産、同4億3200万円）、（株）エス・アール・ミズカミ（北九州市、2017年12月破産、同3億5000万円）の3件にとどまり、同1億円未満の倒産が35件（構成比83.3%）と小規模倒産が中心だった。

まとめ

売上高上位50社の合計売上高は2年連続で過去最高を更新した。「中食」業態ではやや苦戦が目立った一方、「飲食」業態は熊本地震の影響からの復興が進んだことに加え、ランキング3位に躍進した（株）一蘭のように、インバウンド需要の恩恵を受けたことも大きい。

しかし、消費者に依然として根強く残る節約志向に、人手不足にともなう人件費の増加や原材料価格の高騰によるコスト増が重なり、外食産業の収益環境は厳しさを増している。特に「中食」事業者では、コスト高を販売価格に反映できない企業が増えている可能性がある。

外食産業でも、長時間労働の是正、同一労働同一賃金といった「働き方改革」への対応が求められてきており、進展すればさらなるコスト負担は避けられないだろう。既にセルフオーダーシステムの導入などで省力化を図る動きも見られるなか、今後は店舗リニューアルなどによる労務負担の軽減に向けた動きも活発化する可能性がある。また、改正入管法が施行されるなど、外国人労働者の活用が一層進む見通しのなか、不法就労などのコンプライアンスの強化も欠かせない。

2019年10月の消費税率引き上げと同時に導入される予定の軽減税率制度では、「中食」業態に追い風となるものの、「飲食」業態では売り上げの減少のみならず、制度導入にともなう現場・事務方の負担増加によるコスト増加も収益圧迫要因となりうる。外食産業の構図にどのような変化が生じるのか、2019年度以降の動向にも注意を払いたい。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当：永田憲哉（分析）／^{はやし} 晨 智海（集計）
TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位11～50社(2017年度)

順位	前年度 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
11	10	(株)古市庵	福岡県久留米市	中食	持ち帰り寿司店「浪花古市庵」おにぎり畑 晴れ晴れ「おむすび紀行」	9	8,872	▲1.1%
12	12	J R九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「ミスターーナツ」「モ ルガ」「シャトルス」各FC	3	8,172	7.7%
13	13	(株)庄屋フードシステム	長崎県佐世保市	飲食	和食レストラン「庄屋」「雑魚屋」、定食店 「百菜」、天ぷら専門店「那かもら」	3	7,945	5.2%
14	15	(株)おすんでひらいて	福岡県鞍手町	中食	量販店内での総菜・弁当小売	2	7,110	6.1%
15	14	注3 (株)資さん	北九州市	飲食	うどん店「資さんうどん」、ちゃんぽん店「ちゃん ぽん舎」	8	7,100	2.2%
16	17	J R九州フードサービス(株)	福岡市	飲食	創作料理店「うまや」、居食店「驛亭」、駅 構内レストラン	3	7,032	14.5%
17	18	九州産交リテール(株)	熊本市	飲食	高速道路SAでのレストラン経営、熊本城 桜の馬場城彩苑内レストラン	9	6,783	12.9%
18	16	風月フーズ(株)	福岡市	飲食	高速道路SA・空港でのフードコート・レストラ ン経営、「グルメ風月」	12	6,360	2.5%
19	19	(株)ジェイシーシー	沖縄県糸満市	飲食	和食・沖縄料理店「わだや」、沖縄地料理 店「龍潭」「波照間」	5	5,713	4.5%
20	20	九州惣菜(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「彩花」	9	5,019	▲3.6%
21	22	(株)ブレンズ	沖縄県浦添市	中食	持ち帰り弁当店「ほっともっと」FC	3	4,784	1.4%
22	21	注4 (株)ジェイアンドジェイ	熊本市	飲食	居酒屋「十徳や」「寿里庵」「さかな市場」 「情熱酒場」	2	4,615	▲8.7%
23	23	昭和食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味菜」	12	4,478	▲3.2%
24	24	(株)寿福産業	鹿児島市	飲食	和食店「ぶく福」、黒豚料理店「寿庵」、ラーメ ン店「十八番」、回転すし店「めっけもん」	3	4,441	0.9%
25	29	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクドナルド」FC	3	4,418	13.9%
26	45	(株)イートスタイル	宮崎県小林市	飲食	「ポポーマーマ」「ステーキハンバーグ&サラダ バーけん」「サーティワンアイスクリーム」各FC	2	4,379	67.4%
27	25	(株)ポールスター	福岡市	中食	「ケンタッキーフライドチキン」「サブウェイ」FC	6	4,169	▲1.3%
28	28	(株)坂本	熊本市	飲食	回転すし店「九州すし市場」「ぼんぼん寿 し」、焼肉店「えんや」	7	3,997	0.0%
29	31	(株)鹿児島なべしま	鹿児島市	飲食	焼肉レストラン「焼肉なべしま」、居酒屋「焼 き鳥」	5	3,826	4.8%
30	26	(株)めいじん	大分市	飲食	回転すし店「寿司めいじん」、焼鳥専門店 「鳥ざんまい」、天ぷら店「天風」	2	3,778	▲8.7%
31	30	昭産商事(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味菜」	2	3,677	▲3.2%
32	43	注5 (株)ピースマイルプロジェクト	鹿児島市	飲食	「炭火焼肉のて」「薩摩牛の蔵」「産直焼肉 ビーファーズ」	3	3,661	**
33	32	エイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)	沖縄県浦添市	飲食	ファーストフード店「A & W」、サーティワンア イスクリュームFC	6	3,600	2.9%
34	34	(株)プレナス・エムケイ	福岡市	飲食	レストラン「しゃぶしゃぶダイニングMK」	2	3,448	1.4%
35	33	(株)アマージュ	福岡市	飲食	居酒屋「ぶあいそ」「北海道食市場 丸海屋」 「博多黒鉄」	11	3,421	0.1%

〔売上高には推定値を含む〕

次ページに続く

順位	前年度 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
36	35	(株)西鉄プラザ	福岡市	飲食	うどん店「やううどん」、「ド・トル」-ヒーショップ」 「ミスターーナ」各FC	3	3,262	▲1.0%
37	36	(株)梅の花plus	久留米市	中食	持ち帰り総菜・弁当店「梅の花」	9	3,229	▲1.4%
38	37	(株)フェリックス	福岡市	飲食	居酒屋「とめ手羽」、ダーツカフェ「TITO」	3	3,200	1.6%
39	39	(株)ハーバーハウス	福岡市	飲食	海鮮料理店「釣船茶屋ざうお」、定食・居酒屋 「多幸橋本店」	9	3,126	0.3%
40	38	Miコーポレーション(株)	福岡市	飲食	お好み焼レストラン「どんどん亭」、ファースト フード店「どんどんまるや」	5	3,111	▲1.2%
41	41	(株)うちだ屋	福岡市	飲食	食堂「うちだ屋」「麵勝」、セルフうどん店「めん 勝」	9	2,989	2.8%
42	47	(株)ハルフードシステム	長崎県佐世保市	飲食	イタリアンレストラン「マルゲリータ」、和食レスト ラン「白菜旬」	3	2,988	10.8%
43	40	(株)グラノ24K	福岡県岡垣町	飲食	レストラン「野の葡萄」「花葡萄」「ぶどうの樹」	3	2,986	▲0.5%
44	44	(株)イワタダイナース	福岡市	中食	宅配ピザ・お好み焼き店「ピザクック」	2	2,851	4.6%
45	42	(株)八仙閣	福岡市	飲食	中華レストラン「八仙閣」、日本料理「銀香 梅」	3	2,779	1.9%
46	46	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	居酒屋「松介」「博多はたる」、焼肉店「龍 王館」、ラーメン店「中る」	9	2,768	8.1%
47	49	(株)雄和	熊本市	飲食	焼肉レストラン「彩灯」、和風ダイニング「土 房」	7	2,578	6.8%
48	48	(株)タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「豊竹」「プライベートダイ ニング天天」「博多ビストロタケノヤ」	3	2,522	2.9%
49	53	(株)唐十	北九州市	中食	からあげ惣菜や弁当店「唐十」	3	2,500	13.6%
50	96	(有)ホット・ショット	熊本市	飲食	「マクドナルド」FC	12	2,354	15.8%

〔売上高には推定値を含む〕

注3 (株)資さんは2018年8月1日付でナインスードル(株)(東京都千代田区)と合併。同日、ナインスードル(株)は(株)資さんに商号変更し、新体制へ移行している。

注4 ジェイアンドジェイは、2018年6月に(株)アスラポート・ダイニング(現・(株)JFLAホールディングス、東京都中央区)の子会社である(株)十徳(熊本市)に事業を譲渡し、同年9月に解散した。

注5 (株)ピースマイルプロジェクトは、2016年7月にグループ会社(株)アンドワークスを吸収合併し、事業を開始。2016年度の業績は実質9か月間のため、前年度伸び率は算出できない。